令和７年度スタートアップ共同調達推進事業管理・運営業務
公募型プロポーザル選定委員会議事要旨

１　審査基準に係る審査

項　　目		内　　容
1	日　　時	令和７年３月 11 日（火）
2	場　　所	書面審査のため審査員に送付。
3	出席委員	商工労働局イノベーション環境整備担当部長 地域政策局中山間地域振興課長 商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（イノベーション環境整備担当） 商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（地域産業デジタル化推進担当） 商工労働局県内投資促進課長
4	議　　題	令和７年度スタートアップ共同調達推進事業管理･運営業務公募型プロポーザルの審査基準の審査
5	担当部署	商工労働局イノベーション推進チーム
6	開催方法	書面審査
7	議事内容	令和７年４月 15 日（火）に開催する「令和７年度スタートアップ共同調達推進事業管理・運営業務に係る公募型プロポーザル審査会」において、提案者からの提案内容の審査を行う上での基準について審査を実施。審査の結果、案のとおり議決。

２　プロポーザル審査会

項　　目		内　　容
1	日　　時	令和７年４月 15 日（火）　9:00～11:05
2	場　　所	オンライン
3	出席委員	商工労働局イノベーション環境整備担当部長 地域政策局中山間地域振興課長 商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（イノベーション環境整備担当） 商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（地域産業デジタル化推進担当） 商工労働局県内投資促進課長
4	議　　題	令和７年度スタートアップ共同調達推進事業管理・運営業務公募型プロポーザルの候補者の選定について
5	担当部署	商工労働局イノベーション推進チーム
6	開催方法	参集（オンラインにより実施）
7	議事内容	提出された企画提案書を基にプレゼンテーション審査を行い、選定委員会において審査の上、得点が最上位となった提案者を最優秀提案者として選定した。 **１　提案者（最優秀提案社：◎）** Ａ社　株式会社ソーシャル・エックス Ｂ社　ひろぎんエリアデザイン株式会社（◎） Ｃ社　株式会社 eiicon **２　各委員の主な評価・選定理由** **【Ａ社】** ○　国や自治体等とのオープンイノベーション事業の実績が豊富である。 ○　これまでとは違った新しい成果が期待できる一方で、どのようにしてその成果を獲得できるのかという点については目新しさはなく、抽象的であった。 ○　本県の事業及び現況に関する研究が不足しており、広島の個別事情をどこまで把握されているのか不明である。 ○　スタートアップ企業のエントリー数等の目標設定が少し低い印象である。 ○　広島県内での伴走体制が不十分で、市町の参加を呼びかける具体的な手立てが検討されていない。 **【Ｂ社】** ○　各項目において高い水準の提案内容がなされており、事業全体を安定的かつ効果的に推進できる体制が整っている。 ○　県内市町との関係やサポート体制が構築されている。

		○　各事例の状況把握ができているのか若干の不安を感じるが、実施方針や体制はある程度しっかりしており、監督しながら進めれば問題はないだろうと考えられる。 ○　新鮮味を感じないものの、過去の業務実績、県内市町や県内企業とのネットワーク、市町等とスタートアップ企業の募集手法などについても安心感がある。できればＰＤＣＡを回して、過去の課題を踏まえた新しい取組などを提案してほしかった。 **【C社】** ○　活動支援金の上限について、現地の声を踏まえた独自の提案がなされるなど、取組をよくしてきたいという想いが伝わる。 ○　専任コンサルタントによる伴走支援やテーマ設定において、これまでに実施していない新たな提案がなされている点で評価できる。 ○　事前のリサーチも具体的であり、聴取内容に基づく提案も興味深い。ただし、成功するかどうかは未知数であり、プロモーションに関する手段が薄いのも気になる。 ○　市町への巻き込みや積極的な働きかけに不安を感じた。 ○　スタートアップ企業のエントリー数や、協業プラン件数の KPI 設定が少し低い印象である。